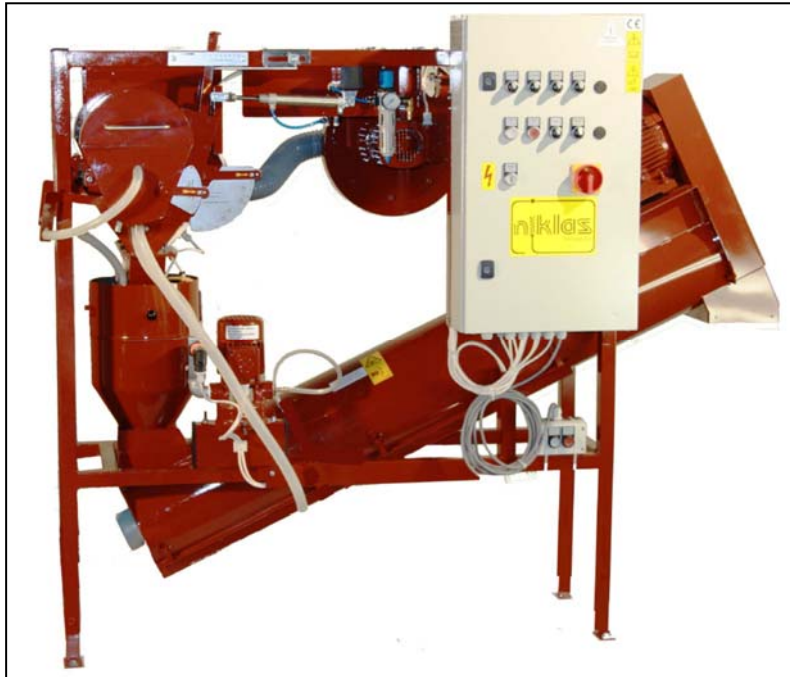


薬液用連続種子消毒機 タイプ W.N.8 能力1-8t/h



薬液用種子消毒機タイプ W. N. 8 は種子用メタリングローラーと薬液投薬ホイールを使って証明された特許済みのテクノロジーを使って稼動する連続種子消毒機です。

消毒機 W. N. 8 は 1-8t/h の能力の範囲で無限に調整できます。ステンレス製ミキシングチャンバーの特別ナイロンブラシによって、この消毒機は穀物のみならず、とうもろこしやえんどう豆、大豆などにも利用できます。



この消毒機 W. N. 8 は J K I 栽培用作物の為の連邦調査センターにて公式にテストされ承認されました。

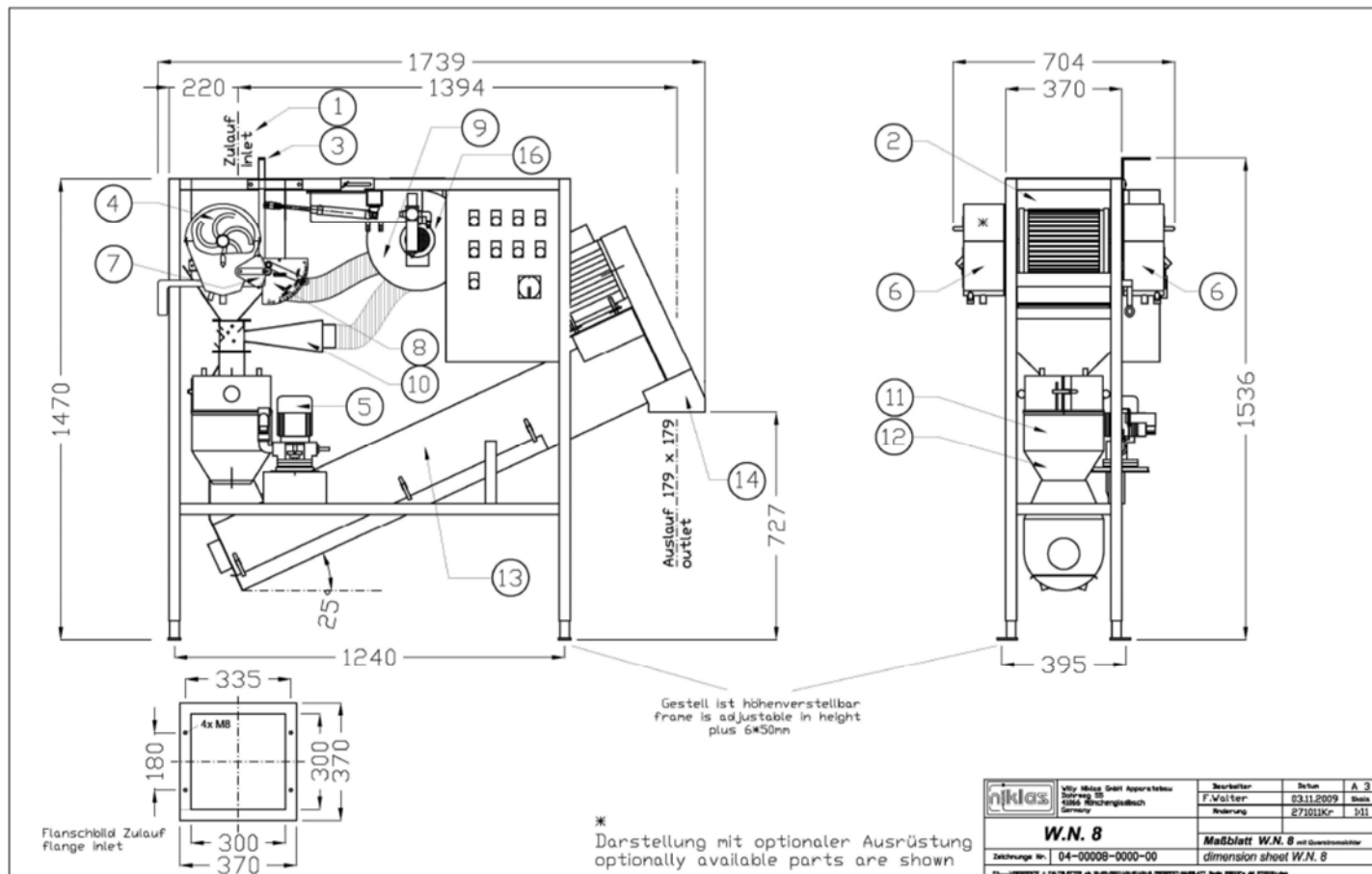
この消毒機の能力は能力用目盛上で無制限に調節可能であり、薬液の投薬量は選定したそれぞれの能力に応じて自動的に調整されます。

様々なタイプの種子は印がついた容積重スケール上で調整されます。能力スケールにセットされた種子の流れがゴムのリブが付いたメタリングローラーを動かす、これが全ての薬液量をコントロールします。

特殊な遠心ポンプによって薬液は薬液タンクから調整可能なオーバーフロー用スライドが付いた投薬タンクへ運ばれます。余分な液は元の薬液タンクに戻ります。投薬タンクには投薬ホイールがあり、これにより粘り気のある薬液であってもムラのない正確な薬液量が保証されます。薬液の量は (ml/1Kg あたりの種子) は投薬ホイールのサイズによって決まり、投薬タンクのスケール上のオーバーフロー用スライドのレバーによって正確に調整することができます。



この W. N. 8 は投薬範囲として 0.6-4.8ml/Kg、1.6-7.7ml/Kg、4.9-11.5ml/Kg、6.8-15.8ml/Kg が提供できます。(全てのデータは水に基づいています。特別なサイズもご依頼に応じます。) 最大2種類の薬液投薬が可能です。



機能と簡単な説明	
1.	投入カラー 又は 投入ホッパー の付いた 投入口 (上図に表記無し) 緩衝/種子の一時貯留、例えば穀物、とうもろこし、えんどう豆、大豆他
2.	種子投薬用 メタリングローラー 投入される種子の圧力によって駆動
3.	能力設定 は無限に調整可能なフラップにより手動で行われます。同時に薬液供給が中断した時に種子の流れは自動的に停止します。
4.	投薬ホイール はメタリングローラーによって駆動し、連続的に薬液を供給します。
5.	輸送循環ポンプ は薬液コンテナや混合タンクから薬液を吸う役割を果たします。薬液モニタリングセンサー付
6.	消毒する種子や薬液 (第2投薬ユニットはオプション) の交換時に素早く投薬量を調整する 薬液投薬タンク
7.	薬液投薬量の調整 は液面レベルのセッティングによって行われます。一度適切に投薬量 (cm ³ /kg 種子) が設定されると消毒機の能力を変更しても比例して正しく調整されます。
8.	容積重調整 種子品種変更の時、目盛りは薬液の自動投薬との組み合わせで様々な種子の種類に調整可能です。
9.	集塵ユニット (オプション) 消毒前にゴミや埃を除去する
10.	横流れシフター (オプション) 消毒前に最適な埃除去用追加除塵チャンネル
11.	スプレーチャンパー ここで薬液は流れる種子に対して均等に散布されます
12.	スプレーコーン 薬液はコーンへ流れ込みます。コーンは高速で回転し、周りを流れる穀物に薬液を霧状にて吹き付けます。種子穀物は薬液で均一にカバーされます。
13.	ミキシングチャンパー ナイロンブラシが薬液散布後の滑らかな後処理 (例えデリケートな種子であっても薬液の均一) を確実にします。
14.	集塵口付出口 処理された種子はここから排出され次工程に移行します。薬液を蒸発させたり、埃の吸引等が考えられます。
15.	2つの袋詰め口 (オプション) (上図に表記無し) もしくは DN150mm への移行管 (オプション)
16.	圧縮空気の接続口 消毒機の機能をコントロールする為です。(オプション: 始動/停止または自動の電気スイッチも利用可能)

輸入元:



株式会社

東映エージエンシー 事業局 貿易営業部

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目18番11号 TEL:03(6825)3055(直通) FAX:03(6825)3579